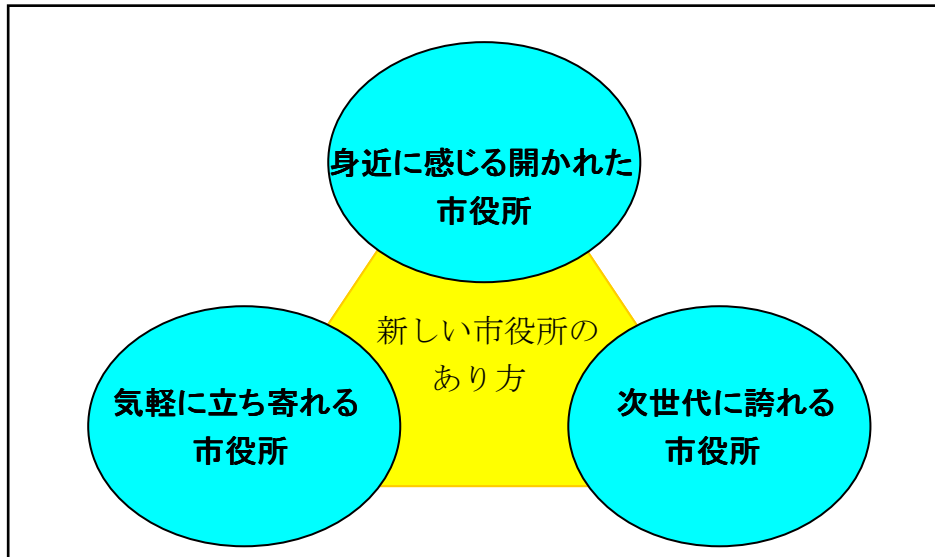


○「新しい市役所のあり方」(案) について

今後の検討の軸として、次のとおり新しい市役所のあり方を提案します。

<新しい市役所のあり方>



1. 身近に感じる開かれた市役所

誰もが利用しやすく、わかりやすい市役所。市民と行政がパートナーとして共感し、協働によりきめこまやかな公共サービスを展開する市役所。そんな、市民が「身近に感じる開かれた市役所」を目指します。

- | | |
|----------|--|
| 【利便性】 | 公共交通の利便性を最大限活かす工夫
高齢者や障がい者など、誰もが利用しやすい配慮
とめやすい駐車場の確保 |
| 【サービス向上】 | 民間の高いサービス水準を導入（「親切」「わかりやすさ」）
待たせない、たらいまわしのないワンストップサービスの展開 |
| 【協働】 | 協働によるきめこまやかな公共サービスの展開
市民と行政がパートナーとして共感し、補完し合える関係
市民の交流や連携を促し、市民力や地域力をさらに高めるしかけ |
| 【親近感】 | 市民との間に垣根のない、より開かれた市役所・議会の実現 |
| 【信頼感】 | 市民の期待に応えるための職員の能力向上や意識改革
万一の災害時に迅速に対応し、市民生活を守る機能の確保 |

2. 気軽に立ち寄れる市役所

すべての市域の市民や市外からのお客様に、長岡のさまざまな魅力に触れていただける明るくて入りやすい「気軽に立ち寄れる市役所」を目指します。

- 【情報発信】 行政情報はもとより、各地域のイベントなど、さまざまな魅力的な情報を受発信
- 【開放感】 明るくて入りやすい雰囲気の創出
公会堂や広場との連携を意識した、市民に気軽に立ち寄ってもらえる空間設計

3. 次世代に誇れる市役所

災害を乗り越え、合併して大きく成長した新・長岡市全市民のシンボルであるとともに、高齢社会、環境問題など、社会情勢の変化にも対応できる「次世代に誇れる市役所」を目指します。

- 【先進性】 合併 10 地域「共存共栄」のシンボル
コンパクトシティへの足がかり
- 【効率性】 限られた財源で最大限の効果を発揮
仕事がかどる働きやすい環境の確保
- 【持続性】 丈夫で長持ちする性能を確保
環境にやさしく、街並みと調和する建物
- 【発展性】 社会情勢や行政事務の変化に対応できる柔軟性
まちの活性化にも寄与